

IFReCとの包括連携の概要について

中外製薬株式会社 取締役上席執行役員 田中 裕

2016年5月19日

創薬等医療技術研究開発の世界的潮流



疾病メカニズム解明進展

創薬等医療技術の高度化

遺伝子解析 バイオ医薬品 迅速オミッ 抗体改变•高機能化、 遺伝子 クス解析 生産技術の進化 発現解析 低分子医薬品 たんぱく質 次世代 大規模スクリーニング 発現解析 シークエンサー コンピューター創薬 病態情報 医療情報 再生医療 etc のICT活用 新規技術(iPS細胞、 治験•治療 体性幹細胞等) 情報 診断•医療機器 バイオマーカー、 疾患原因分子 個別化医療 (ターゲット)発見

画期的新薬 革新的医療技術

1

中外製薬の創薬戦略 ~技術ドリブンのアプローチ~



疾患原因分子

アカデミア

研究ネットワ

共同研究

適切な創薬ター ゲットの選択 革新的医薬品 創製技術の開発

技術とターゲットの マッチング

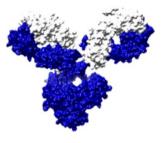
アンメットメディカル ニーズへ対応

次世代(高機能化)抗体

低分子医薬品

中分子医薬品

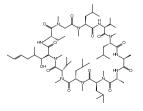
抗体医薬品 mw: 150,000



低分子医薬品 アレクチニブ, mw: 482



中分子医薬品 環状ペプチド, mw: ~1,000~



IFReCと中外の包括連携がもたらす価値



~IFReC最先端の免疫学と中外創薬技術の融合から生まれるイノベーション~

IFReC

免疫学、生体イメージング、 バイオインフォマティクス 分野において 世界最先端を走る、 創薬シーズの宝庫



中外製薬

多様な創薬標的に対応できる革新的医薬品創製技術を駆使した技術ドリブンの 創薬アプローチ

免疫異常を伴う疾患の病態メカニズムの理解 革新的な新規標的分子の同定

世界の免疫学を牽引

画期的新薬の創出

IFReC・中外包括連携のスキーム



~IFReCの自主的基礎研究段階から連携する新しい産学連携~

IFReC

自主研究

- IFReC研究者による自由な先端的免疫学研究
- ・ 自主研究成果*を中外に定期的開示

包括連携契約

研究資金拠出 10億円/年 x 10年間

成果の開示

共同研究に関する 第一選択権

*:第三者との既契約を除く

共同研究

• 連携推進ラボ:研究者交流、共同研究実施

個別共同研究 契約

中外 プロジェクト

・ 複数の革新的プロジェクトの創出を目標

画期的新薬